

会 議 録（要約筆記）

会 議 名	平成30年度第 3 回米原市図書館協議会
開 催 日 時	平成30年 7 月21日（土） 午前10時05分～午前11時40分
開 催 場 所	近江図書館 談話室
出席者および欠席者	出席者：大橋敏治委員、井上智子委員、高橋由紀委員、 山下秀一委員、寺村和美委員、大西美智子委員、 清水冬子委員、岩脇明美委員 欠席者：澤逸子委員、有川博延委員 事務局：今川館長、梶川主幹、押谷主事
議 題	協議事項 （1）米原市立図書館サービス基本計画 内部評価について
結 論 （決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載する。）	○内部評価の修正点 4 子どもたちの読書活動を見守り支援する図書館 評価C⇒評価Bに変更 成果や課題の部分については、もう少し詳細を記載する。 ○平成30年度視察研修 11月 8 日（木）で決定 ○アンケート集計結果について アンケートの意見に対して、できていることや改善したことが利用者 にわかるようにする。
	■会長あいさつ 皆さん、お疲れ様です。かなり暑くなっているので体調管理に気をつけてください。本日もよろしくお願いします。 ■館長あいさつ 本日は、暑い中第 3 回図書館協議会にお集まりいただきありがとうございます。 協議に入る前に、運営形態見直しについての進捗状況を報告させていただきます。皆さんに検討いただいた案で6月に副市長、市長レクを終えました。7月17日の部長会議で見直しの方針決定についての報告をしました。今後の予定については、8月の委員会協議会で説明し、12月の議会で条例改正の提案をします。 本日は、事前に資料を配付していますが、平成29年度の実績を基に

	図書館の評価をしていただきまして、内部評価としてまとめたいと思いますのでよろしくお願いします。 ■事務局 米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により、過半数の御出席を得て定足数に達しておりますので、本会は成立していることを申し添えます。 ■事務局 次第の報告以下の議事運営については、会長様でお進めいただきますようお願いいたします。 協議事項（１）米原市立図書館サービス基本計画内部評価について ■事務局 【資料】に基づき説明 【内部評価(案)】に基づき 項目1 市民の多様な資料要求に応える図書館について説明 ■会長 項目ごとに進めていきたいと思います。 ■F委員 一番気になったのは、市民の実利用者率が低いという印象を受けましたが、この数字は図書館には来られたけれど、借りなかった人も含まれていますよね。 ■事務局 そうです。新聞や雑誌を読みにだけ来られた人などはカウントしていません。 ■F委員 借りはしなかったが、子どもと来て本を読んで帰った人も居るので、利用した人がわかるといいと思います。これだけ見ると、一度も図書館へ行ったことのない人が居ると思ってしまいます。 ■事務局 一度も来られたことのない人ももちろん居ると思いますが、来館者数を把握できるようなゲートがないので、難しいです。 ■F委員 アンケートで一度も行ったことがないという人が、たくさん居れば課題だと思います。 ■会長 この数字の分母は市民人口ですか。
--	--

	■事務局 そうです。 ■会長 それですと、赤ちゃんからお年寄りを入れた数字と言うことになるので、すごく対象が広いと思います。この数字は、他の図書館に比べると少ないですか。 ■C委員 20%を超えることは、ほぼ無いと思います。分母が人口ですので、米原市は高い方ではないですか。 ■事務局 大きな市町より小さい市町の方が来てもらいやすいのではないかと思います。 ■F委員 実際には違うと思いますが、やはり低く感じてしまいます。 ■E委員 私も低いと思いましたが、全人口で考えると高いのかなと思います。分かりにくいと思います。 ■A委員 言葉を変えた方がいいと思います。市民の実利用者の反対は全く利用していないと言葉上とれてしまいます。この文言は、本を借りた人に限定しているとは読み取りにくいです。 ■副会長 以前は、外部研修を増やさないといけないということが挙がっていましたが、内部研修はどのようなことをしますか。 ■事務局 ここでは、相互貸借担当者による本の探し方などの情報共有を想定していますので、内部研修という表現にしています。 ■会長 内部評価の方法について、アルファベット評価で期待以上という表現になっていますが、目標以上という言葉にすべきではないかと思います。目標設定をよく見ると目標が期待になっていると感じました。サービス計画の現状に対して目標が120%以上の数値になっていますので、おそらく目標が期待になっていて期待どおりという言葉になってきますが、120%を達成して初めて評価Cの期待どおりになるのかなと思います。全体的に高い数値になっていますので、図書館として評価Cを良しとしているのか聞いてみたいです。
--	--

	■事務局 外部評価の評価方法とリンクしているので、図書館だけで触れるものではないです。教育行政の評価の中で数字だけでは計れない部分の評価もという話もありましたので、お願いします。 ■会長 目標数値も高いので、数字にこだわらずに全体を見ていけばいいですね。 ■事務局 来年度以降数字だけ見ると休館日が増えるため、数字だけが減っていくような形になりますので、対前年度比も含めて評価をお願いしたいと思います。 ■会長 わかりました。1はCでよろしいですか。内部評価Cで決定。それでは、次に項目2に移りたいと思います。 ■事務局 【内部評価（案）】に基づき、項目2市民の生活に密着し、地域の課題解決に役立つ図書館について説明 ■C委員 なぜ昨年度のA評価からB評価に下がったのか教えてください。 ■事務局 両方の数字が落ちた部分の評価もあります。 ■F委員 郷土の資料やまちづくりの資料は最も大切なことだと思います。本屋さんには無いですし、図書館にしかできないことだと思います。期待の高い部分だと思うので、図書館で力を入れてほしいです。学校でも郷土やまちづくりへの関心が高まってきているので、大事にしたいところだと思います。 ■会長 成果のところに付け加えた方がいいですか。 ■F委員 短く書いてありますが、学校の期待もありますので、もう少し言葉を加えた方がいいと思います。 ■副会長 あっさりした書き方なので、詳細を加えてほしいと思いました。 ■会長 直した文章は見させてもらえますか。
--	--

	■事務局 10月の外部評価まで時間がありますので、修正して郵送で送らせていただきます。 ■会長 それでは、項目3に移りたいと思います。 ■事務局 【内部評価（案）】に基づき、項目3だれもが進んで利用できる安心・安全・便利な図書館について説明 ■B委員 高齢者施設に行って読み聞かせなどを行っていますが、読んでいる方も聞いている方もいいなと思っています。何かモデルとなる地域や施設はありますか。 ■事務局 先日、協働事業で高齢者向けのおはなし会の研修をしました。福祉委員の方にも参加していただきました。具体的に指定ではないですが、希望のあった5つの地域に出向く予定をしており、関係づくりを進めていきます。 ■B委員 それが、この文章になるということですか。 ■事務局 もう少し深く地域の福祉委員との関係ができるといいと思っています。人の交代もありますが、ボランティアと図書館でやっていることが広がればいいと思っています。 ■A委員 日本語を母語としない人へのサービスはハードルが高いです。関係団体との連携はどのような事を考えていますか。 ■事務局 日本語を母語にしない人へのサービスの部分は、働き掛けが十分できていませんが、手話言語条例に関する取り組みで、社会福祉課と連携を取りながら始めたところです。 ■A委員 課題として挙がっているので、今後取り組むということですね。現在方法を検討中ということよろしいですか。 ■事務局 そうです。資料を集めたりするところから始めようと思います。どのように図書館を利用してもらうかの話はできていません。
--	--

	■C委員 ウェブサイトの管理は図書館職員がしているのですか。 ■事務局 そうです。 ■副会長 大活字本の充実とPRは前回も挙がっていたと思いますが、どのような取り組みをされましたか。今後の課題になると思いますが、まだできていない状況ですか。 ■会長 同じ事を思っていました。大活字本と高齢者施設の部分は目標値が高く、大活字本の購入冊数など目標を達成するための活動になっていきますか。アンケート結果からも大活字本を望まれているのではないのでしょうか。前に大活字本のコーナーは行きにくいと意見が出ていたと思います。 ■事務局 大活字本の出版点数が少なく、1タイトルにつき上中下のものが多いので、費用がかかってくるため、新刊の購入があまりできていません。本としては、たくさん所蔵していますので、知らない人に気付いていただけるように引き続き取り組みたいと思い挙げました。 ■会長 たくさん本はあるわけですか。 ■事務局 そうです。近江図書館ですと、畳コーナーの前に壁一面おいてあります。 ■副会長 案として、人権の関係で見えにくい方への周知が必要だと思います。母国語の本など、分かりやすいように置いてあると思いますが、PR不足だと思いますので、団体などへ周知をしないと来ていただけないと思います。外国の方以外でも、絵本などには興味を持つので、もっとPRをしてください。 ■会長 評価はCでよろしいですか。 評価Cで決定 ■副会長 大活字本は、本に特徴が無く、全て同じ本に見えるので、作者等がわ
--	--

	かりやすいように工夫をしてもらいたいと思います。 ■事務局 【内部評価（案）】に基づき、項目4子どもたちの読書活動を見守り、支援する図書館について説明 ■F委員 この部分は、米原市は充実していると思っています。数字的には減っているかもしれませんが、学校図書館との連携もうまくいっていると思いますので、評価はBでも良いと思います。 ■副会長 新1年生に利用カードを配布したというのは、すごいと思います。貸出が増えるよりも大きいことだと思います。 ■会長 それでは、ここでの評価はBとします。 ■副会長 読書案内冊子「ナツヨミ」は、学校図書室の司書が、自分の学校に本がないことに気づけるので良いと思います。学校司書も増えてほしいと思います。 ■事務局 学校教育課も進めていますが、米原市は遅れている状況です。「ナツヨミ」は、臨時職員が力を入れているところです。 ■会長 それでは、次の説明をお願いします。 ■事務局 【内部評価（案）】に基づき、項目5地域の人たちとの協力・協働でめざす、交流の場となる図書館について説明 ■F委員 学校の図書室のボランティアはとても生き生きしていて、見るたびに力をもらいます。その部分は、高く評価しても良いと思います。 ■D委員 私もおはなしボランティアをやっていますが、おはなしボランティアと芸術の会が昨年ライブをされて、それが無くなったのが残念だと思います。 ■事務局 昨年度は、絵本作家や講師を招いて講座などを開催しました。今年度は、藤田浩子さんを招いて、高齢者へのおはなし会の勉強会をしました。
--	--

	■副会長 先ほどのサロンの話など、そちらに力を入れられているのでしょうか。 ■事務局 そうです。昨年は子どもの取組をしているので、今年度は高齢者に向けて広がりを持とうと思っています。 ■D委員 前のように、華やかなものがあると良いと個人的には思います。 ■事務局 協働事業は、3年間の補助金事業で、単発的にやるための補助事業ではないので、つながりやネットワーク作りを目指していくことが必要だと考えています。ホールもあるので、原画展など様々な取組を考えていきます。 ■会長 評価Bに対して、具体的に成果を挙げておく方が良いと思います。 ■事務局 講師を招いて講座などを実施した部分を追加します。 ■会長 お願いします。ここの評価はBで、成果のところに追加をしてください。それでは、項目6に移ります。 ■事務局 【内部評価（案）】に基づき、項目6 専門性を持った職員によるサービスが保障される図書館について説明 ■C委員 ここの評価では、前年がDで今年がCですが、評価を見てみるとCが最低レベルだと思います。大変よく頑張っていると思います。 ■A委員 成果の中のおはなしグループとPRグループの成果物を具体的に教えてください。 ■事務局 年報の23ページにおすすめの冊子などが載っています。こちらが、成果物となります。 ■副会長 山東のインスタ映えするフォトブースは、若い人たちを呼べるように頑張って作られたと思います。
--	--

	■事務局 フォトブースは、ハロウィン企画で入り口のところに設置していました。たくさんの方が撮影していたので、利用促進につながりました。 ■副会長 協議会の中で、若い人が離れているという話もあったので、頑張られたのかなと思っています。 ■事務局 小さいお子さん連れのご家族に喜んでいただきました。 ■A委員 フォトブースは、PRグループに入るのでしょうか。 ■事務局 フォトブースは、PRグループではなく、図書館の利用促進としての取組です。 ■A委員 せっかくやっただいているので、どこかに入れた方が良いと思いますが、どこに入れればいいですか。 ■副会長 7の個性の部分だと思います。 ■会長 それでは、7に含めましょう。 ■F委員 研修は回数も増えているので、この評価で良いと思いますが、職員間の情報共有の部分に課題があると思ったことがあります。尋ねた時に分かる人と分からない人がいたので課題だと思います。 ■会長 図書館内での会議はしていますか。 ■事務局 2ヶ月に1回第4木曜日に両館での合同研修をしていますので、その時に、情報共有や課題に対する協議などを行っています。個人のスキルを高めて行くことも大切だと思っています。 ■会長 図書館の日報はありますか。 ■C委員 朝礼はしていますか。 ■事務局 朝礼は両館でやっています。山東は毎日時間差出勤ですし、非常勤の
--	--

	職員も居るので、ノートに書き込んで全員で共有するようにしています。 ■D委員 図書館の談話室などの申請をするときに、用紙がなかなか出てこないのが、すごく不思議です。前年度からですが、知っている人と知らない人がいました。 ■事務局 申し訳ありません。 ■D委員 誰でもわかるようにしてもらえればと思います。 ■会長 日々の課題を情報共有していただきたいと思います。 ■副会長 専門的なことを共有するのは、難しいと思いますが、事務的な事の共有は確実にしてもらいたいと思います。 ■会長 課題の部分で、研修を増やすことは賛成なので、入れておかないと予算が取れないということはないですか。 ■事務局 その通りです。県立でも様々な研修を計画されています。今後、県レベルでの交流や勉強会には是非参加できるような形を取っていきたいと思っています。 ■会長 それでは、項目7に移りたいと思います。 ■事務局 【内部評価（案）】に基づき、項目7 山東・近江2館の個性を生かす図書館について説明 ■F委員 分からないのが、市民が1年間に読んだ本の冊数は、平均の数字で若年層の時は合計の数字が入っているので分かりにくいです。若年層が多いか少ないかが分かりません。若年層の年齢も分かりません。 ■事務局 若年層は、19歳から39歳までの人のことです。 ■会長 皆さん、学生や20歳前後を想像してしまうので、括弧書きで記載しておく方がいいのではないですか。その層の人口は分かれますか。
--	--

	■事務局 調べたら分かると思います。市民の読んだ冊数は、図書館に限らず1年間で読んだ冊数の数字です。 ■A委員 一般的に考えれば、もっと若い中高生くらいだと思います。米原だけが、この年齢層なのでしょうか。 ■事務局 採り方はいろいろあると思いますが、システム上10歳刻みでの数字です。30歳前半で切ることができません。 ■C委員 この層を採るのは、ターゲットにしているからですか。 ■事務局 市全体の取組です。 ■副会長 最初の内部評価をしたときに若年層への貸出が少なかったため、課題として挙がっていたと思います。 ■F委員 一人当たりの数値だと分かりやすいと思います。 ■事務局 計画作成時は50歳以上が増加して、若年層が減っていたので、力を入れていく部分ということで挙げました。 ■会長 計画作成時に、整理をされていて付け加えられないと思うので、次回の計画の時に議論をしてきましょう。これで全て終わりました。修正点は、4の評価をBに変更することとそれぞれのコメントに追記してください。それでは、報告事項に移ります。 ■事務局 平成30年度の視察研修ですが、前回の協議会で提案しました能登川図書館と永源寺図書館と日の調整をしましたので、報告します。11月8日（木）で調整させていただきました。詳細については、調整して事前に送付させていただきますので、よろしくお願いします。 ■会長 時間は何時ですか。 ■事務局 9時から9時30分ごろの出発を予定しています。
--	--

	■会長 次にアンケートについて説明をお願いします。 ■事務局 【資料】米原市立図書館運営に関するアンケート集計結果に基づき、説明。 ■C委員 インターネットの充実を望む声が多いように思います。 ■事務局 PRがしっかりできておらず、できていることに関しても御意見をいただいています。 ■A委員 アンケートを返すという意味で、改善したことなどを分かるようにすればPRになると思います。 ■副会長 共有してここを改善しようというところはありませんか。 ■事務局 結果を見て、すぐに対応すべき事やできそうなことはやっています。山東ですと、危険な部分もあったので、コミックのコーナーの整理を行いました。 ■A委員 置き場所を頻繁に替えないでほしいとの意見がありますが、頻繁に替えていますか。 ■事務局 昨年、レイアウトを替えましたが、大きく替えることはないです。今後は書架案内をしっかりとしたいと思います。 ■会長 なぜ見直すか明らかにしてほしいとの意見もありますので、何かの機会にしっかり説明できるようにしておいた方が良いでしょう。 ■事務局 働き方改革という言葉の捉え方で、部長会の中で、職員が働きやすくするために見直すと誤解を招いてしまうおそれがあるため、説明の仕方について意見がありましたので、地域性や実情を踏まえて効率的な2館運営を継続するために見直しをするという説明をしっかりとしていきたいと思います。米原市の人口規模で2館運営は米原市の大きなサービスだと考えています。そこを踏まえて、縮小するのではなく休館日をずらして、効率的な運営をしていきたいです。
--	--

	■D委員 木曜日も休みと書いていますが、研修をするために休みにされていますよね。 ■事務局 資料整理と研修などを行うためです。 ■D委員 一般的な休館日と同じような考え方をされているのではないですか。 ■C委員 皆さん知らないのではないですか。 ■D委員 休館日と書いてあると、月曜日も木曜日も休みと思われてしまいます。 ■事務局 今後は、資料整理日で周知をしていきます。 ■会長 以上でよろしいでしょうか。それでは、閉会の挨拶に移ります。 ■副会長 アンケートを集計するのは大変ですが、アンケートの中で職員として大事にしたい項目をまとめて、どのような事をしたかを出しても良いと思います。また、このアンケートを大事すると次の評価の時に、成果を出しやすいのと思いますので、アンケートを大事に使ってほしいと思います。大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
--	--

会議の公開・非公開 の別	■公 開 <u>傍聴者： 0人</u> ☐一部公開 ☐非 公 開 一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)
会議録の開示・非開	☐ 開 示

